優勝は 昨年全国大会・東京都知事賞の 本多直由氏

出場全選手と関係者による記念撮影
（前列中央が三浦社長、同右から３人目が阿部審査員委員長）

第一ビルメンテナンス・第16回技能オリンピック

来年の東京大会は準優勝の高木依吹氏が出場

㈱第一ビルメンテナンス（本社：東京都新宿区）は６月28日、同社の代々木研修センターで第16回技能オリンピックを開催した。

この技能オリンピックは同社の定期清掃班が技能を競う年に一度の大会。その目的は日本一の清掃技能を持つ集団を目指した技能水準の向上で、個人戦と団体戦に分かれている。

個人戦はビルクリーニング技能士試験を模したコート競技で、団体戦は同社全14営業所が清掃技能＋チーム力を現場で競い合うチーム競技となっている。

競技内容は「弾性床材の床表面洗浄作業床維持剤塗布仕上げ」の技を競うもので、作業準備→除塵→洗浄→汚水取り→仕上げ拭き（１回）→床維持剤塗布→後始末を行う。個人戦は定期清掃を担当している同社の東京、埼玉、千葉、神奈川の14営業所、総勢１６０人の中から選ばれた精鋭20人による戦いとなり、そのうちの一人は14人の新入社員の中から選抜された18歳の社員だった。

社内から選抜された精鋭20人により熱戦が繰り広げられた個人戦

この大会は、合計で３回優勝すると社内で「匠」の称号が与えられるため毎年熱い戦いが繰り広げられているが、今回は来年開催されるビルクリーニング技能競技会の東京大会への出場をかけた社内予選会となった。大会は研修センターを開放し見学可能としたため取引先の関係者を含め50人を超える来場者が熱戦を見守った。

そして審査の結果、昨年東京・有明の東京ビッグサイトで開催された第18回全国ビルクリーニング技能競技会で準優勝にあたる東京都知事賞に輝いた本多直由氏が初優勝を飾った。しかし、来年のビルクリーニング技能競技会の東京大会には過去の全国大会出場者は出られないという大会規定があるため、代表は準優勝の高木依吹氏に決まった。

審査員委員長を務めた阿部敏執行役員は、「選手は日頃の業務で培った技術と練習の成果を存分に発揮されていたと思う。また、２大会連続で全国大会に出場できたことで会社の技術レベルは確実に上がってきている。次はここから日本一になるメンバーが必ず出ると信じることができた。そして、ここで培った技術とスピードをお客様に最高の商品（サービス）として届けてほしい」と講評を述べた。

上位入賞者（左から高木氏、本多氏、第3位のアーマード・ヨキ氏）

また、三浦光一社長は「私は我が社のサービスを造語として環境エンジニアと呼称している。まさしく今日は素晴らしい環境エンジニアの姿を見ることができた。我が社でいう環境エンジニアとは、『安全で清潔で衛生的で快適な、人に優しい環境』を提供できる技術者のことを指す」とした上で「私たちは、そこに集う人たちのために人に優しい快適な生活住環境を作り出している。それが安らぎと活力のある場、そして安全で清潔な環境へとつながっている」と語った。

そして今後の切磋琢磨のカギとして「心」の大切さを説き、「心を磨くことで自分たちの技術を磨き、更には人間的な成長もしていく。皆さんはまさしく環境エンジニアとして自分たちの心で技術を磨き、更に人間力が高まっているからこそ、人に感動を与える大会を実現できたのだと思う」と述べ、閉会の挨拶を締め括った。

東京大会出場を決めた高木氏は「練習の時から本多さんを見てきてレベルの高さを感じていた。実際に本番で隣になるとスピードの速さにつられてしまう場面もあった」と振り返り、「これから東京大会に向けて更に練習を積み重ね、会社の代表として全国大会への切符を手にできるように全力を尽くしていきたい」と抱負を語った。

優勝した本多氏の実技

準優勝の高木氏の実技

外国人 リアルタイム 人材活用24時

東南アジア各国からの現場報告 55

「実習生負担金ゼロ」を目指すベトナムの新しい風

川口　環 ㈱ジェイティップス代表取締役

技能実習生の送出国として、近年「ベトナム離れ」がささやかれている。渡航前の高額な手数料や日本語能力の低下が来日後の暮らしを圧迫し、失踪問題や犯罪行為を引き起こしていると指摘され、一方で経済格差の縮小や円安によりベトナムの若者たちは日本への夢を見失いつつある。しかし、そんな逆境の中にあっても新たな風を吹き込もうとする挑戦者がいる。

コロナ禍真っ只中の２０２１年に設立された送出機関「ＴＡＫＵＭＩ（タクミ）」だ。設立からわずか３年、まだ実績は少なく知名度こそ低いが、志の高さと革新的なアプローチで注目を集めている。

ＴＡＫＵＭＩの副代表ブイ・ディン・クエットさん（写真）は、15年程前の大学時代に伊勢神宮近くのホテルでインターンシップを経験し、日本人のホスピタリティーや勤勉さに感銘を受けた。「時間を守る」「約束を守る」「人に優しくする」。多くの日本人が当たり前にしている仕事に臨む姿勢に衝撃を受けた。帰国後、日本とベトナムの架け橋となるべく送出機関へ就職。持ち前の頑張りでトップセールスとなったが、課題に直面する。

受入企業や監理団体からのクレームの多くには実習生が抱える問題が根底にあり、悪循環を生んでいたのだ。それを目の当たりにしたクエットさんは「ベトナムの人たちが安心して日本で働けるように、そして日本企業が本当に求める人材を送り出したい」と固く決意し、ＴＡＫＵＭＩを立ち上げた。ＴＡＫＵＭＩは実習生の手数料を他のベトナム送出機関よりも大幅に安く設定し、多くの若者たちに門戸を開いた。

教育面では通常の日本語の授業の他に、日本の文化や習慣、ビジネスマナーまで踏み込んだ実践的な教育を提供する。更に入国後も定期的なフォローアップを行い、週２回２時間ずつの無料オンライン日本語研修など、実習生が安心して日本で生活できるようにサポートを徹底している。

「私たちは実習生ファーストを貫いています。彼らが日本で活躍できるよう、あらゆる面でサポートするのが私たちの仕事です」

クエットさんの言葉には、実習生一人ひとりを大切に思う気持ちが溢れている。そして実習生に経済的な負担をかけないよう監理団体と連携し、「実習生負担金ゼロ」の画期的なスキームも計画中だ。

このプランはベトナムの若者たちに新たな希望を与え、日本企業にとっても優秀なベトナム人材を確保するチャンスになると確信している。「ベトナムの若者は日本の発展に貢献できるポテンシャルを秘めている。同時に、日本での経験は彼らの人生を豊かにするでしょう」。そう語るクエットさんには、日本のベトナム離れを払拭し、ベトナム人実習生の未来を変えるという信念がみなぎっている。

川口（かわぐち）　環（たまき）

1968年12月15日、愛知県生まれ。中央大学卒業後、TOTO株式会社を経てWebマーケティング会社「株式会社ジェイティップス」を設立。約20年間、多数の大手企業Webマーケティングに関与し、グロースハックさせる。ニッチ領域のWebメディア開発を得意とし、数々のバーティカルメディアを立ち上げ、昨今は外国人技能実習の無料相談ポータルサイト「外国人技能実習360°」運営責任者として、海外送出機関のリサーチと受入企業の相談にあたっている。年間20回以上海外へ出張し、約150日間を東南アジア各国で活動する。

エービーシー商会

高光沢を付与し耐薬品性を向上させる無機系トップコートを発売

摩擦熱によるツヤ出しで工期短縮を実現

建材の開発・製造・輸入・販売を行う㈱エービーシー商会（本社：東京都千代田区、東川茂樹社長）は、硬質コンクリート床に耐久性だけでなく高光沢・耐薬品性を付与する無機系トップコートの「バーニッシュコート」を発売した。

EC市場の拡大などで物流施設や大型倉庫の建設が増加しているが、このような施設の床はコンクリート床が一般的で、日々のフォークリフト走行や高荷重の負荷にも耐える耐久性などの機能面が重視されている。中でも最終工程で床表面を磨き上げるポリッシュ仕上げは、床面が緻密になることで耐汚性や耐久性が向上するため、人気の高い仕上げとなっている。

近年ではポリッシュ仕上げ特有の光沢が美装性の高い床になるとして労働環境改善の観点で採用される事例も増えている。しかし、ツヤ出しは複数回の工程を重ねて研磨する必要があり、２０２４年問題で労働時間の短縮が求められる中、施工者に負担をかけざるを得ない状況だった。

当製品はコンクリート表面に高光沢を付与する無機系トップコートで、製品を塗布後にバフィングマシンを用いて加熱を行い、ツヤ出し工程が１工程で完了。従来のポリッシュ仕上げと同等の光沢を出しつつ、工期短縮や施工者の負担軽減を実現する。

また、機能面においても化学反応でコンクリート床表面に緻密な層を形成し、従来の表面強化材と同様の耐久性を実現。加えて特殊な熱硬化樹脂の効果によって耐薬品性も向上し、コンクリートに染み込みやすいエンジンオイルなども除去しやすい床となり、メンテナンスコストの低減も可能にする。

材工設計価格は１４２０円／㎡（１０００㎡以上）。問い合わせは同社無機建材事業部（℡03－３５０７－７２７１）まで。

光沢度（60°）

下地の種類	塗付前	塗付後
機械仕上げコンクリート床（新設想定）	2.2	33.8
既存コンクリート床（10年以上経過）	18.3	57.7
機械仕上げコンクリート床（新設＋#1500ポリッシュ仕上げ）	36.3	64.8

※60°の角度で見下ろした時の光沢具合を数値化。数字が大きいほど光沢感が強く出る。光沢度は下地の不陸等の条件に影響される。

施工写真（手前：バフィング前　奥：バフィング後）

自律型掃除ロボット「KEMARO K900」をレンタル

作業員がいない時間帯に自動清掃

総合建設機械レンタルの㈱アクティオ（本社：東京都中央区、小沼直人社長）は現在、ＡＩと３Ｄカメラを搭載した自律型掃除ロボット「KEMARO（ケマロ）Ｋ９００」（写真下）のレンタルを展開している。

働き方改革関連法に伴い労働基準法が改正され、労働者の高齢化や人材不足による長時間労働、週休２日に相当する４週８閉所の問題は建設現場だけではなく、あらゆる生産現場の共通の課題とされている。

今回、２０２４年問題への対応策として、本来の建設現場作業や業務に含まれていない清掃作業を自律型掃除ロボット「KEMARO K900」を活用することによって、人手に頼らない省人化につなげ、労働時間の削減、現場での生産性向上に貢献する。

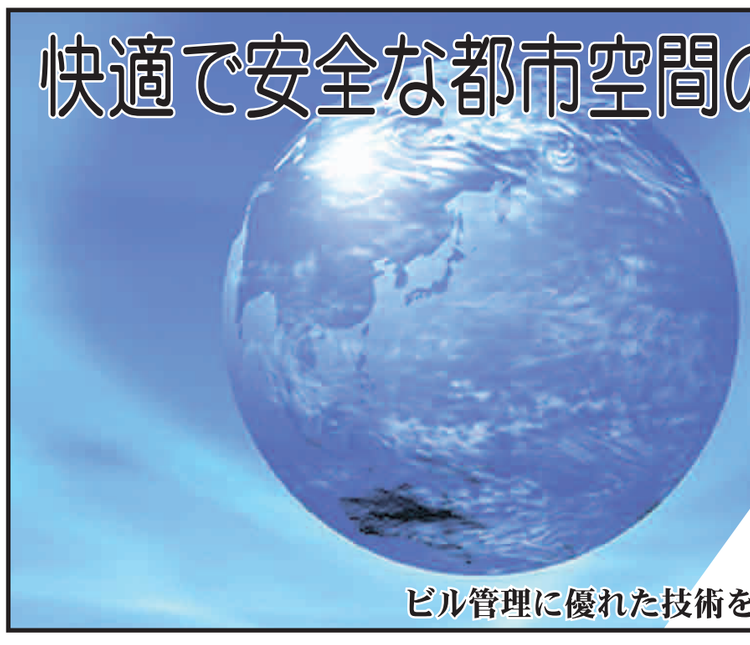
「KEMARO K900」の運転モードはリモコン走行、ランダム走行、マッピング走行と三つのモードがあり、レーザーセンサーによるマッピング設定とスケジュール設定を併せて行うことで作業員がいない時間帯に、自動清掃を行うことができる。

ブラシは、両サイドに２カ所と本体下部にもロータリーブラシを装着しており、ゴミは後方の35Ｌ大型ゴミタンクへ回収する。ブラシの毛足が長いため壁際の掃除もでき、濡れた床も清掃が可能となっている。

また安全装置として障害物センサー、ブラシ部分に付いているバンパーセンサー、落下防止センサーも搭載している。

問い合わせは、同社エンジニアリング事業部建築部（℡03－６６６６－２５４８）まで。

快適で安全な都市空間の創造をめざす 東洋実業グループ



●清掃等建築物の環境衛生管理
●空調・電気・給排水系統等諸設備の保守管理
●警備・保安・駐車場管理
●機械警備「トーヨー・アラームシステム」による防犯・防火
●工場・ダム等のセキュリティ
●計量証明事業（濃度測定）
●その他建築物の運用管理に係る一切の業務
●温泉宿泊施設の運営管理

本　社／札幌市中央区北6条西22-2-7(東実ビル)　☎(011)612-1911
東京支店／東京都新宿区西新宿1-26-2(新宿野村ビル)　☎(03)3345-0531
支　社／埼玉
営業所／函館・室蘭・苫小牧・千歳・恵庭・小樽・余市・岩内・石狩・岩見沢・旭川・深川・士別・富良野・帯広・北見・釧路
海外事業／TOYOJITSUGYO (SINGAPORE) PTE.,LTD.
TOYO SECURITY&BUILDING MANAGEMENT(HONG KONG)LTD.

ビル管理に優れた技術を誇る東洋実業のノウハウ・技術が確かな明日を創ります。

TOYO JITSUGYO 株式会社 東洋実業